

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	建築人間工学小委員会	主 査 名：田中 直人 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：西出 和彦
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築空間、設備機器、家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知見を蓄積、更新し、これらを供給者ならびに生活者に提言することを目的とする。 ・2014 年度：研究会の開催、基礎資料データの整備と利用促進、若手研究者の研究公表の支援 ・2015 年度：前年度と同様 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：田中直人(島根大学)、幹事：佐野友紀(早稲田大学)、嶋田拓(明野設備研究所)、 委員：遠田敦(日本大学)、老田智美(NATS 環境デザイン)、岡田明(大阪市立大学大学院)、 古賀紀江(関東学院大学)、古瀬敏(静岡文化芸術大学)、後藤義明(岡山理科大学)、齋藤 芳徳(茨城大学)、武田雄二(愛知産業大学)、西岡基夫(大阪市立大学大学院)、畠山雄豪(早 稲田大学)、飯塚裕介(大東文化大学)、山崎晋(小山工業高等専門学校)	
設置 WG (WG 名：目的)	①建築人間工学初学者用関連情報 WG ・関連研究分野・関連研究委員会との交流研究会、書評会等の企画・実施 ・当分野の情報収集と整理。出版物の基本的な準備作業 など ②没入型仮想環境評価 WG ・仮想環境がもたらす人間生活への変化など、建築人間工学の視点から評価・展望を行う。 ・VE 事例見学会やメンバーによる研究実施、成果報告としての研究会の実施。	
2015 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： http://news-sv. ai. j. or. jp/keikakusub/s23/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	第 61 回「人間工学に関連する国際標準・基準の動向」15.5.16 (16 名)
大会研究集会	大会研究協議会「建築におけるユニバーサルデザインの到達点と展望 —建築において多様な人間をどのように捉えるか」 参加者数 137 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 研究会開催：開催回数は 2 回。(活動計画 2 回予定) 2. 小委員会開催：4 回開催。(活動計画 4 回予定) 3. 初学者用関連情報 WG：初学者向けの書籍紹介ムービー作成 (13 テーマ) 没入型仮想環境評価 WG：開発事例の見学会を実施
委員会活動の問題点 ・課題	1. 委員の出席状況の改善 2. WG 活動との連携、構成のあり方

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。